

化学から写真に入った 「西の上野彦馬」

日本へ最初に輸入された写真機は、彦馬の父・上野俊之丞^{としのじょう}が1848年にオランダ人から取り寄せたもの。その後、写真は化学の一項目として薩摩藩などで研究されました。彦馬は、長崎医学伝習所でポンペに化学を学ぶ中で、湿板写真に興味を持ち、長崎を訪れたスイス人写真家ロシエから写真術を学び、1862年長崎初の営業写真館を立ち上げました。

高杉晋作や坂本龍馬など幕末維新に活躍した志士たちの肖像を私たちが見ることができるのは、彼の功績のひとつです。次世代の育成にも熱心で、明治中期まで化学の教科書として使われた「舎密局必携」はじめ、写真の実用化の段階で大きな足跡を残しました。

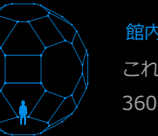


上野彦馬（長崎歴史文化博物館 所蔵）

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <http://www.tcmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.